平成 26 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名　**株式会社　新日本科学**
代表者名　代表取締役社長　　永田　良一
（コード番号：2395 東証第一部）
問合せ先　代表取締役副社長　　関　　利彦
（TEL：03-5565-6216）

関連会社 WaVe Life Sceiences Pte. Ltd.の第三者割当増資に関するお知らせ

株式会社新日本科学（本社：東京都中央区、社長：永田良一、以下「新日本科学」）が設立し経営支援してまいりました核酸医薬ベンチャー関連会社（持分法適用会社）の WaVe Life Sciences Pte. Ltd.（所在地：シンガポール、以下「WaVe」）が、この度、かごしま新産業創生投資事業有限責任組合 [1)]を引受先とする USD5.6 百万ドルの第三者割当増資を実施いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.本件の経緯

新日本科学は、基幹事業である医薬品の研究開発受託事業（CRO 事業）に加えて、知財により収益を上げていく研究開発型のトランスレーショナルリサーチ事業(TR 事業)[2)]にも注力していくことで、より一層の付加価値を付けた質の高い技術と特化したサービスをお客様に提供する体制を整備し、より深化させた事業形態に発展できるように努力しております。

かかる中、TR 事業の一環として、新日本科学は核酸医薬 [3)]の領域において、株式会社キラルジェン（所在地：鹿児島市）、Ontorii, Inc.（所在地：米国マサチューセッツ州）という 2 つの会社を設立し経営支援してまいりました。更には平成 24 年に両社を経営統合する形で、シンガポールに両社の持株会社である WaVe を設立し、日米の統一したオペレーションを構築してまいりました。更なる技術発展と研究成果が得られるようになる中、創薬ベンチャーの専門性および資金ニーズを勘案し、専門性を持った経営者の採用と外部資金の獲得が必要不可欠との認識のもと、WaVe では昨年 12 月に経営ならびに研究開発両面に相応の実績と知見を有する最高経営責任者（CEO）[4)] を採用するとともに、今般の第三者割当増資による資金調達を実現いたしました。これらのリソースをもとに、今後 WaVe では更に研究開発を促進し、企業価値の向上を加速してまいります。

2. WaVe の概要

(1)商　　号	WaVe Life Sciences Pte. Ltd.	
(2)本 社 所 在 地	8 Cross Street #10-00 PwC Building, Singapore	
(3)代表者の役職・氏名	President and CEO, Paul Bolno	
(4)事 業 内 容	持株会社の運営	
(5)設 立 年 月 日	平成 24 年 7 月 23 日	
(6)大株主および持株比率（支配権ベース）	かごしま新産業創生投資事業有限責任組合	53.1%
	株式会社 新日本科学	39.8%
	大学教授（米国）	4.7%

3.キラルジェンの概要

(1)商　　号	株式会社キラルジェン
(2)本 社 所 在 地	鹿児島県鹿児島市宮之浦町２４３８番地
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役　高梨 健
(4)事 業 内 容	核酸の大量合成法の確立
(5)設 立 年 月 日	平成 20 年 3 月 18 日

4.Ontorii の概要

(1)商　　号	Ontorii, Inc.
(2)本 社 所 在 地	米国マサチューセッツ州ボストン市 (1320 Soldiers Field Road, Boston)
(3)代表者の役職・氏名	Director, President　Gregory L. Verdine
(4)事 業 内 容	核酸医薬品の開発
(5)設 立 年 月 日	平成 21 年 9 月 8 日

5.今回の第三者割当増資の概要

(1)払 込 期 日	平成 26 年 1 月 22 日
(2)発 行 新 株 式 数	普通株式　11,200 株
(3)発 行 価 格	1 株につき US$500 -
(4)発 行 総 額	US$5,600,000 -
(5)割 当 先	かごしま新産業創生投資事業有限責任組合

6.今後の見通し

本件が当社グループの今期業績に及ぼす影響は、現段階では軽微であります。

以 上

[1)]かごしま新産業創生投資事業有限責任組合；概要は下記。

(1)名　　称	かごしま新産業創生ファンド
(2)ファンド総額	約 20 億円
(3)出 資 者	鹿児島県内企業等
(4)ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
(5)無限責任組合員	鹿児島ディベロップメント株式会社
(6)投 資 対 象	将来有望な研究・技術シーズを保有する大学、研究機関、企業等 の研究者、事業者

[2)]トランスレーショナルリサーチ事業；医療にかかわる基礎研究成果を実用化させる事業のことです。新日本科学では、自社が有する前臨床試験施設や臨床試験施設を活用して、基礎技術の付加価値や開発ステージを高めて、製薬企業等へのライセンス導出を行うことを目的とした事業をトランスレーショナルリサーチ事業（TR 事業）と称しています。

[3)]核酸医薬；核酸は主に遺伝情報をつかさどる物質として、地球上のほぼ全ての生物が有する生体高分子で、構造や機能の異なる DNA や RNA などがあります。これら核酸の持つ性質を利用した医薬品を核酸医薬（siRNA や miRNA、アプタマー、アンチセンス核酸等）と総称し、難治性疾患の治療薬として大きな期待を集めています。

[4)]CEO 略歴；Paul Benjamin Bolno（医師、経営学修士）
大学での医学研究を経てベンチャーキャピタル（Two River Group Holdings）でライフサイエンス部門の事業投資を経験。その後、グラクソスミスクライン社(GSK)で、がん領域の事業開発責任者、アジア部門の事業開発責任者を歴任。